

4月の朝雲ニュース

4/5日付

ニュース トップ

「山崎賞」に甲賀准教授 防大学術・教育振興会

財団法人防衛大学校学術・教育振興会(東京都新宿区、会長・西原正元防大校長)は3月8日、顕著な業績を上げた防大研究者に平成23年度「山崎賞」各賞を贈り業績を称えた。「山崎賞」は防大で優れた学問的業績を上げた研究者を顕彰する制度。最優秀の「山崎賞」のほか、「山崎奨励賞」「山崎学生奨励賞」「校友会奨励賞」などがある。

今年で19回目の「山崎賞」には応用化学科の甲賀誠准教授が選ばれ、西原会長から賞状、メダルなどが贈られた。甲賀准教授は固体推進薬(固体ロケット燃料)の高性能化、燃焼機構の解明、推進薬の設計の3分野について活発な研究活動を続けており、過去7年間に総論文25編、主要論文6編、主要主著論文16編を発表している。

「奨励賞」には西田謙准教授(通信工学科)が「ラマン分光法による強誘電体薄膜の評価に関する研究」、三浦伸祐講師(機械システム工学科)が「単結晶Ni基超合金の高温クリープ特性に関する研究」、石井由梨佳講師(国際関係学科)が「国際法における管轄権理論の研究」に関する業績でそれぞれ受賞した。

「学生奨励賞」は3月17日に贈呈式が行われ、理工学研究科前期課程に在籍する韓国の朴相漢陸軍大尉が鑄造組織に重要な一次枝間隔の変化と均一化機構、同課程の幡野尚宏2陸尉がイミダゾリウム系イオン液体-水混合系の溶液構造、同後期課程の吉田祐輔1陸尉が大腸菌転写因子群による遺伝子発現調節機構、総合安全保障研究科前期課程の我孫子慶子特別研究員が国連平和維持活動に関する研究でそれぞれ受賞。「校友会奨励賞」に少林寺拳法部と相撲部が選ばれた。

このほか「教育奨励賞」が別府万寿博准教授(建設環境工学科)、羽生光俊准教授(統率・戦史教育室)、河本裕介准教授ほか30人(学習支援グループ)に、「研究奨励賞」が村上秀俊講師(数学教育室)、松村徹助教(応用物理学科)、岸村浩明助教(機械材料工学科)、山田浩之助教(機械システム工学科)にそれぞれ贈られた。

自衛隊専門紙

「朝雲」購読のご案内

トップページへ

朝雲新聞社
書籍のご案内